

実施計画(令和2年度～令和4年度)事業一覧(節毎)

4節 防災危機管理(災害に強く、安心して暮らせる村)

	基本施策 番号	実施施策 番号	事業名
1	②	①	自主防災組織補助金交付事業
2	③	③	消火栓設置事業
3	④	③	交通安全対策特別交付金

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名		消火栓設置事業						事業区分		継続事業	
前年度事業費	1,500	千円	令和2年度 事業費	1,500	千円	対前年増減額	0	千円	実施計画総事業費 (令和2～4年度)	5,500	千円
事業概要			第四次総合計画位置付け						担当課		
災害時等の消防活動に必要な消火栓を設置する。			施策の大綱			4節 防災危機管理(災害に強く、安心して暮らせる村)			上下水道課		
			基本施策			③ 消防・救急体制の拡充			担当係	上水道係	
			実施施策			③ 消防救急施設の整備促進			担当名	仲地由邦	
			その他関係施策						内線番号	270	
事業期間			平成	13	年	～	令和	8	年	積算資料	有
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
地域開発の動向や消火栓自体の老朽化などを考慮し、消火栓の新設・改修を行う必要がある。						消火栓の設置を計画的に行うことにより、村民の生命、財産を災害等から守り、安心して暮らしを実現する。					
令和2年度			令和3年度			令和4年度					
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容			
工事費	1,500	消火栓の新設・改修	工事費	2,000	消火栓の新設・改修	工事費	2,000	消火栓の新設・改修			
合計			1,500	合計			2,000	合計			2,000
財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%
県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%
地方債		千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%
その他()	消防組合負担金	1,500	千円 100%	その他()	消防組合負担金	2,000	千円 100%	その他()	消防組合負担金	2,000	千円 100%
一般財源		千円	%	一般財源		千円	%	一般財源		千円	%
令和2年度目標 (KPI等)	消火栓を設置し、消火活動を支援する。 (3年間の消火栓改修等 11基)			令和2年度との 相違点	施工箇所(屋宜地内)			令和3年度との 相違点	施工箇所(和宇慶、津覇、奥間)		
今後の展開	耐用年数に応じた計画的な消火栓の新設・改修を行う。			目標	消火栓改修等 4基			目標	消火栓改修等 4基		

実施計画書（令和2年度～令和4年度）

事業名	交通安全対策特別交付金					事業区分	継続事業
前年度事業費	2,000	千円	令和2年度事業費	2,000	千円	実施計画総事業費（令和2～4年度）	6,000 千円
				対前年増減額	0	千円	

事業概要	第四次総合計画位置付け					担当課		
交通安全対策特別交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵等）を整備し交通安全上の危険箇所や利便性の向上、交通事故の発生を防止することを目的とする。	施策の大綱	4節 防災危機管理(災害に強く、安心して暮らせる村)					都市建設課	
	基本施策	④ 交通安全対策の強化					担当係	都市建設係
	実施施策	③ 安全施設の整備拡充					担当名	新垣 翼
	その他関係施策						内線番号	284
	事業期間	平成	43	年	～	令和	年	積算資料

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
交通事故の発生を防止することを目的として、村内の危険箇所に道路反射鏡、防護柵等を設置する。設置箇所は、自治会からの要望及び民生員の意見を取り入れ決定する。自治会からの要望が多く、危険と思われる場所を選定し設置順位を決定しているが、毎年の交付金額での新設設置ができない状況である。又、施設も老朽化している為、台風等や大型車両等での破損が多く維持管理上の予算確保が難しい状況である。	道路反射鏡、防護柵等を設置することで、交通安全上の危険性が除去され、地域住民の生活利便性の向上及び安心、安全な街づくりに繋がる。

令和2年度			令和3年度			令和4年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	2,000	道路反射鏡他	工事請負費	2,000	道路反射鏡他	工事請負費	2,000	道路反射鏡他
合計	2,000		合計	2,000		合計	2,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	金額	千円	%	国庫補助金名	金額	千円	%	国庫補助金名	金額	千円	%
交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90 %	交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90 %	交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90 %
県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%
地方債		千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%
その他()		千円	%	その他()		千円	%	その他()		千円	%
一般財源	200	千円	10 %	一般財源	200	千円	10 %	一般財源	200	千円	10 %

令和2年度目標（KPI等）	各種要望をベースに、現場確認の上、必要度の高い所を選定し、効果的に対策する。毎年、道路反射鏡5本、修繕8箇所程度を整備予定。	令和2年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。	令和3年度との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。
今後の展開	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	道路反射鏡5本、修繕8箇所	目標	道路反射鏡5本、修繕8箇所